

# 第一鋼業株式会社

## 2019 年度 環境経営レポート

(対象期間：2018 年12月21日～ 2019 年12月20日)



発行日： 令和1年12月26日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

## □ごあいさつ

環境を考えることは企業の義務です。有害物質を出さない事、リサイクルの輪を断ち切るような製品を出さない事、省資源の考え方などを基本に製品作りをすることが我々に課せられた使命と考えます。この考え方を基本にして製品作りをすすめるとともに次世代の環境にやさしい処理を探求し、もの造りに専念いたします。

第一鋼業株式会社  
代表取締役社長 妻藤 誠

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

第一鋼業株式会社は金属剪断刃物・機械部品の製造及び金属熱処理加工を行う工場としての事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に取り組みと同時に、環境経営の継続的改善を行います。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制とその削減につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤などの化学薬品の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した生産活動を進めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2017年7月16日

代表取締役社長 妻藤 誠

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
第一鋼業株式会社  
代表取締役社長 妻藤 誠
- (2) 所在地  
本社 大阪市西成区南津守6-3-22  
本社工場 同上  
九州工場 福岡県北九州市若松区南二島2丁目25番1号  
東京営業所 東京都大田区東六郷3丁目9番9号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 総務次長 宇野 眞博 TEL：06-6651-8368  
担当者 刃物技術部G長 深瀬 拓也 TEL：06-6651-8368
- (4) 事業内容  
金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工
- (5) 事業の規模  
売上高 112,468 万円 (2018年度)
- |       | 本社                   | 九州工場               | 東京営業所             | 合計                   |
|-------|----------------------|--------------------|-------------------|----------------------|
| 従業員   | 64 名                 | 8 名                | 3 名               | 75 名                 |
| 延べ床面積 | 4,705 m <sup>2</sup> | 500 m <sup>2</sup> | 88 m <sup>2</sup> | 5,293 m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 前年12月21日～12月20日

## □認証・登録の対象組織・活動

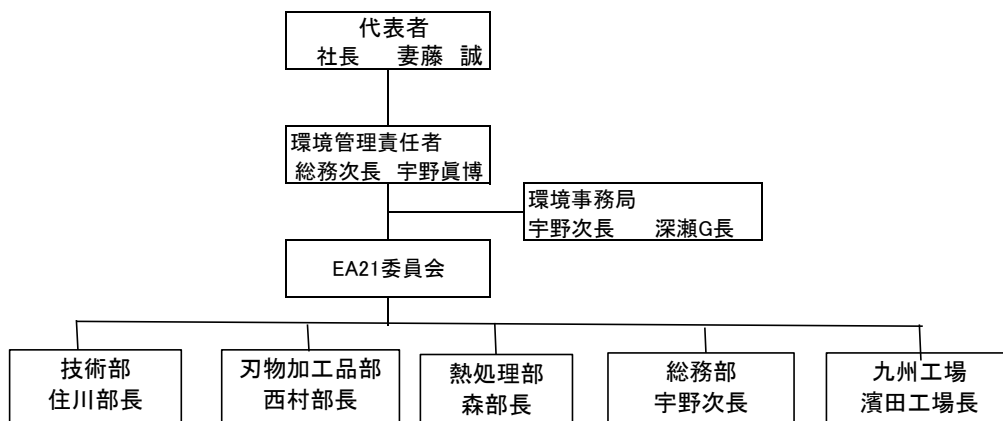
- 登録組織名： 第一鋼業株式会社  
対象事業所： 本社・本社工場・九州工場
- 九州工場 2019年に拡大審査済  
東京営業所 2020年に拡大受審予定
- 活動： 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

## □事業や製品(商品)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年12月15日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	3,060,649	3,202,490	3,282,064
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1650.16	4,968	9,180
産業廃棄物排出量	kg	63,514	80,417	92,573
総排水量	m <sup>3</sup>	6,506	6,201	6,784

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の調整後の係数

※産業廃棄物排出量には、有価物56830kgを含んでいます。

□環境経営目標及びその実績

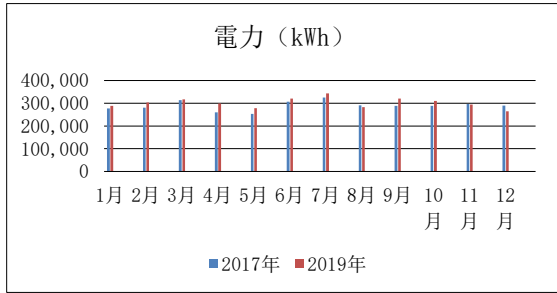
項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年	2021年
			上段:	通期			
			下段:	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,732,129	1,697,486	1,796,696	×	1,680,165	1,662,844
	基準年度比	2017年	98%	104%		97%	96%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,281,879	1,256,241	1,416,954	×	1,243,423	1,230,604
	基準年度比	2017年	98%	111%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	39,783	38,987	54,990	×	38,589	38,192
	基準年度比	2017年	98%	138%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	3,053,791	2,992,715	3,268,639		2,962,177	2,931,639
一般廃棄物の削減(コピー)	kg	969	940	515	○	940	930
	基準年度比	2017年	97%	53%		97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	57,934	56,775	82,731	×	56,196	55,617
	基準年度比	2017年	0.98	143%		0.97	0.96
水道水の削減	m <sup>3</sup>	6,506	6,376	6,784	×	6,311	6,246
	基準年度比	2017年	98%	104%		97%	96%
洗浄剤使用量削減	kg	140	137	60	○	136	134
	基準年度比	2017年	98%	43%		97%	96%
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)					

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	エアー漏れ点検については未達成だが業者任せでなく社内自主点検を年2回する仕組みを次年度から開始する。LED照明はソルト工場のみだったがコストと耐熱を重視しているため次年度の課題になる。熱処理炉の充填率、操業率の計算～分析については試作ソフトは社内作成したので業者と打合せ業務用HTシステム内で次期にできるようにする。太陽光発電の導入も検討している
・不要照明の消灯(5S・安全パトロール時)	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃前後)	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	×	



取組紹介欄

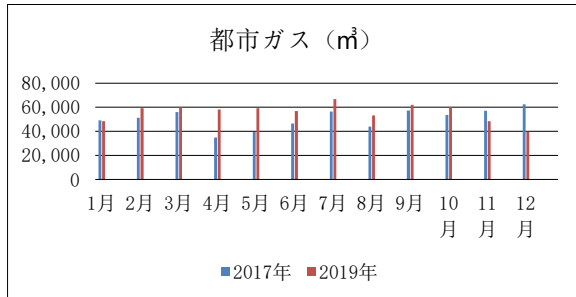


次年度の取組内容

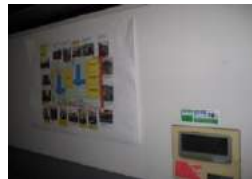
エネルギー使用量については加工高の変動による影響が大きいのでそれを考慮した使用量削減を検討する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	276,961	280,799	314,018	259,830	253,573	307,139	325,629	290,295	288,943	288,943	296,545	289,420
2019年	288,254	303,357	317,358	298,627	277,989	320,162	343,748	283,253	320,284	309,844	294,336	265,158

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	熱処理ガス炉に関しては原単位する仕組みはあるがここでは使用量なので全体的には売上が上がっていることにより未達成であるが売上との原単位で比較すれば単月の達成はされた月もある。省エネ法対応の管理標準の作成ができているのでその運用をする中、対策をしていき、また炉への充填率、操業率の分析結果からの対策も検討することが課題
・熱処理炉の原単位管理	○	



取組紹介欄



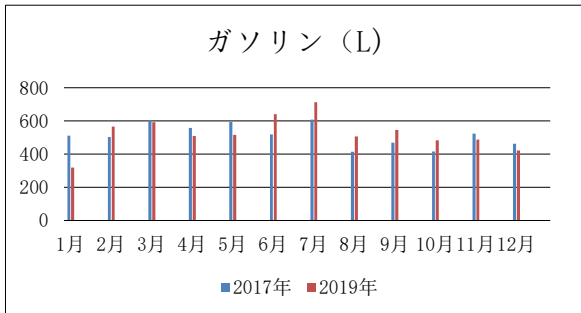
GHP 温度設定厳守

次年度の取組内容

エネルギー使用量については加工高の変動による影響が大きいのでそれを考慮した使用量削減を検討する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	49,138	51,174	55,962	34,809	39,397	46,445	56,410	43,983	57,311	53,692	57,087	62,570
2019年	48,357	59,263	59,794	58,228	59,217	56,836	66,714	53,248	62,121	60,303	48,353	39,608

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	熱処理営業2019年度は受注増により燃料消費量増ではあるが配送業務・ルート効率化見直しや、便の削減を改善したことによりコストも削減した。営業課員で配送業務のフォローを行い、外部業者運転手に対して時間での負担を軽減した。また無事故、無違反は継続 来期も削減見直しを進めたい。刃物加工品営業も無事故、無違反は達成
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・環境に配慮されたリース車を満了時新規導	○	



取組紹介欄

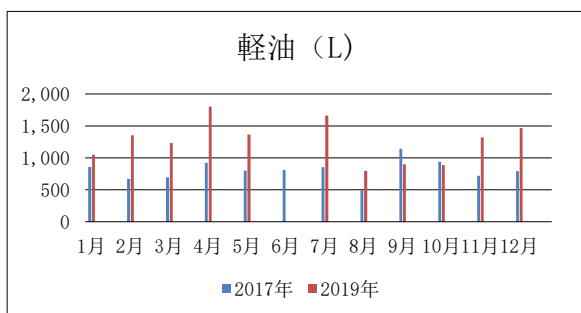


ハイブリッド車も増車

次年度の取組内容

月次の使用量をグラフ化して削減意識を高める。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	511	503	605	558	593	518	607	415	469	416	524	462
2019年	319	565	593	509	516	641	713	507	546	483	487	423



取組紹介欄



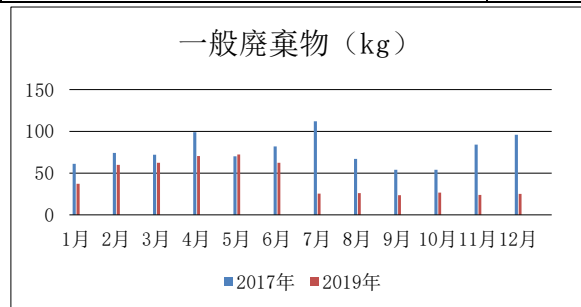
アイドリングストップ運動

次年度の取組内容

月次の使用量をグラフ化して削減意識を高める。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	858	670	696	922	802	810	852	493	1,141	938	718	791
2019年	1,049	1,353	1,231	1,802	1,365	0	1,663	796	898	886	1,321	1,465

一般廃棄物の削減(コピー用紙)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	環境新聞は不定期発行だが次年度年初に作成予定 計量計測をしていなかった廃棄量の把握をしていく仕組みはできた。今回は紙使用量を優先事項として取上げた。コピー使用実態調査に基づき会議資料等のプロジェクター化などはさらに進める必要。
・書類の簡素化(集約印刷、裏紙利用、PDF保)	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・一般ごみの量を把握 ギョウギョウ作戦実	○	
・環境新聞による両面印刷、集約コピーのす	△	



取組紹介欄



一般廃棄物看板九州

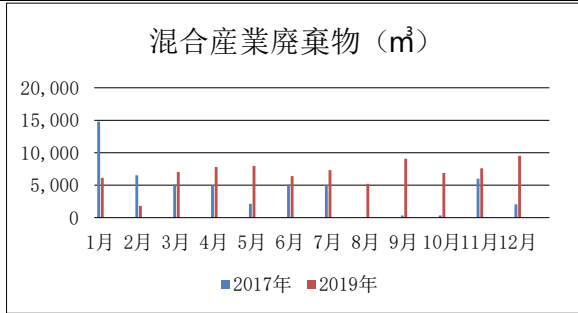
次年度の取組内容

前年は廃棄量が把握できていない状況であったが、「ごみ袋ギョウギョウ作戦」の実施により一般廃棄物の量を把握できるようになった。次年度はそのデータをもとに分析対策する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	61	74	72	99	70	82	112	67	54	54	84	96
2019年	37	60	62	70	72	62	25	26	24	27	24	25



産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	設備更新によって産廃量は大きく変動するのは致し方ない。11月にソルト工場炉の入替にともない耐火レンガ及び設備処分した分も含め排出量が増加した。研磨粉の蓋は雨水を含む排出量を削減しているので横展開を検討する。
・材料の歩留まり向上(材料会議)	○	
・加工ミスによるロス削減確認(ISO会議)	○	
・セパレーターのメンテナンスで排水量、廃	○	
・高濃度PCBコンデンサ処分	○	



取組紹介欄



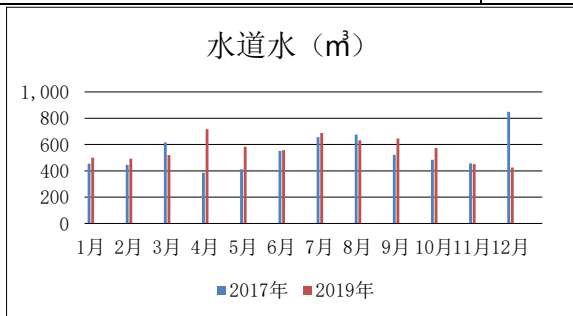
PCB機器処分

次年度の取組内容

産業廃棄物の処理にかかるコストを低減するため分別方法を検討していく。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	14,782	6,524	5,133	5,012	2,150	5,072	5,052	2	332	332	6,003	2,052
2019年	6,123	1,810	7,033	7,796	7,963	6,412	7,323	5,192	9,063	6,892	7,614	9,512

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	特に増減がないこともあるが効果的な削減策は検討中、水槽入れ替えなど1月以外その他の月は、全体的に現状維持。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・定期的な漏水点検	○	



取組紹介欄



次年度の取組内容

機器不良の漏水で使用量が増えているので、設備点検方法を検討して実施する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	455	444	616	385	411	552	657	676	521	485	458	849
2019年	500	493	519	718	583	558	687	633	647	574	452	425

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	熱処理部における薬品の取り扱い教育は完了、今後も継続予定、熱処理品証は薬品の使用量の管理を記録している廃液は下水に流さないことも徹底できている
・有害性物質の周知と表示	○	
・SDSによる取扱い教育、SDSの保管	○	

取組紹介欄

MSDS管理  
ファイル



次年度の取組内容

次年度のPRTR物質を含むものは新しく管理の必要になった脱硫剤(少量)のみになる

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
・全社5S活動の推進	○	改善実施活動では前年50件の実施提案だったが115件と大幅増加 過去最高件数更新◎
・クリーン作戦の継続実施	○	
・改善実施活動(改善事務局)	115件	
・環境新聞の発行・掲示(不定期)	○	

取組紹介欄

・5Sクリーン作戦時の様子



・全社5S改善成果発表会



次年度の取組内容

改善実施活動は提出1件/1人当りで継続して全員参加をめざす

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無


法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、木くず、消耗品屑等）
騒音規制法	空調機・空圧機
振動規制法	走行クレーン
大気汚染防止法	排出基準の遵守、排出濃度の測定・記録の保管
省エネ法	第2種特定工場の届出、管理者の選任
温暖化対策推進法	対策計画、実績報告
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、定期点検の実施、点検記録の保存
PRTR法	指定化学物質の取扱量把握、SDSの受け取り
労働安全衛生法	SDS義務640物質の把握
No x・PM法	適合する自動車の使用
消防法（危険物）	危険物の管理
PCB処理法	対象品の届出保管
毒物及び劇物取締法	盗難/漏えい防止

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、省エネ法に関連した管理基準の作成に対応します。

なお、その他については違反、訴訟等も過去3年間ありません。

□緊急事態対応訓練 本社工場

緊急事態の想定： 火災消火と津波を想定した避難訓練	
■実施日： 平成30年7月3日	■実施場所： 会社内
■参加者： 本社従業員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 毎年、消防署員の立ち合い指導の下に実施であるが今回は合同訓練となり、消防署員と連携を求められる行動を訓練したが特に問題なかった。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	本社
	

□緊急事態対応訓練 九州工場

緊急事態の想定： 火災消火と津波を想定した避難訓練	
■実施日： 平成31年3月14日	■実施場所： 九州工場内
■参加者：	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 初めての取り組みということで多少の避難集合、安否確認に時間がかかったが今後回数を重ねて迅速にしてい	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019年12月24日

【前回の指示への取組結果】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・油煙を減少させる消炎装置の設置計画の策定についてはコスト面、見積もり、仕様決定と長引いたが2020年着工が決定した</li> <li>・炉の断熱工事、建屋の断熱工事などはコスト面で未実施</li> <li>・二酸化炭素の削減目標については省エネ法への届け出にもとずく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で年初のEA21委員会で目標数値を2017年度基準通りとしている。</li> </ul>	
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) ・高濃度PCB廃棄物の処理期限が、2021年3月31日と迫ってきている。古い蛍光灯安定器の調査～処分が今後の課題	<見直し・指示> ◇環境方針 ・部年年度経営計画に環境関連項目を付記し策定内容を着実に実施してください。方針の見直しはなし
◇環境目標・活動計画の達成状況 ・電力による二酸化炭素2%削減や、都市ガスによる二酸化炭素2%削減等の目標は、ほとんど未達であった。改善実施提案については過去最高件数を更新	◇環境経営目標・環境経営計画 ・二酸化炭素の削減目標は、生産量の増減や設備の更新等により、達成状況が左右されるが、2020年度は、省エネ法への届け出にもとずく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で二酸化炭素削減目標は、前年と同じ基準年比2%削減を目標とします。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 過去に油煙に対して、近隣から火災と間違えて消防署に連絡されたことがある。 ・環境上の問題点等	◇その他 ・2020年度中に、油煙を減少させる装置の設置計画を策定してください。 ・LED照明の範囲拡大、炉の断熱工事、建屋の断熱工事など計画検討してください。 ・東京営業所範囲拡大の準備。
【今回の評価結果と今後の経営視点】	
<p>今回は、課題であった保管高濃度PCBコンデンサ処分を実施、その他は2017年度比では十分とはいえない結果でしたが、今回の結果をレビューして、2020年度計画で改善していきます。</p>	

□これまでの環境活動の紹介

西成消防署との合同訓練 2019年6月4日



西成区消防技術大会の様子  
可搬ポンプの部「優勝」2019年10月30日



企業名	所要時間	1分あたり100リットルを吐出するまでの所要時間	総時間	順位
1 株式会社 興行	1分	100	200	3
	21分	100		
2 西成工業株式会社	1分	100	200	2
	13分	100		
3 西成自衛消防協議会	1分	100	200	
	23分	100		
4 西成自衛消防協議会	1分	100	199	
	43分	99		
5 キーエスエス株式会社	1分	100	195	
	53分	95		
6 第一産業株式会社	1分	100	200	1
	02分	100		

□編集後記

EA21 審査の様子(本社)



(東京営業所)



(九州工場)

